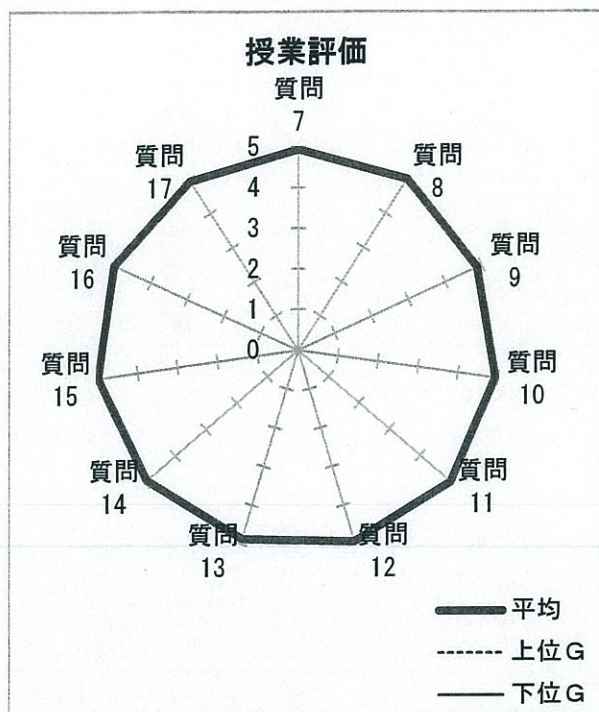


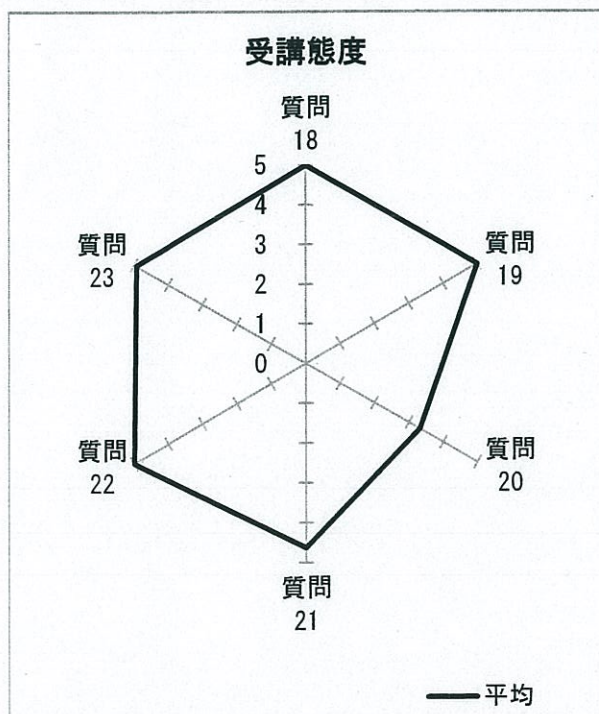
科目コード 101 (2018年度 前期)

国際文化学部・文学部 英語学科 上野 葉子 発音リズム法



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	4.9	4.9	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.9	4.9	#DIV/0!
質問15	5.0	5.0	#DIV/0!
質問16	5.0	5.0	#DIV/0!
質問17	4.9	4.9	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	5.0
質問19	5.0
質問20	3.3
質問21	4.6
質問22	5.0
質問23	4.9
平均	4.6

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	英語学科	上野葉子	発音リズム法	16

2018 年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と 2019 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

質問項目の平均値が 4.9 以上であり、全体的に良い結果であったと考える。子どもの英語教育に使用する歌やチャンツを修得するという実習形式の授業であるので学生が取り組みやすく、良い結果が出たと思われる。

質問 15「授業を理解できたと思うか」、質問 16「授業は興味・関心・意欲を引き出したか」が 5.0 と良い評価であった。今年度この授業を履修した学生は、英語のリズムの練習に熱心な学生も多かったことも良い結果につながったのではないと思われる。学生が授業中に英語のリズムがうまくつかめるまで自分から進んで何度も練習する姿が見られ、興味をもって取り組んでいることが感じられた。また、最初の数回の授業で英語が難しい箇所があったようだったので、昨年度よりも進度をゆっくりめにしたので、十分に英語のリズムを習得できたものと思われる。

II. 2019 年度に向けての取り組み

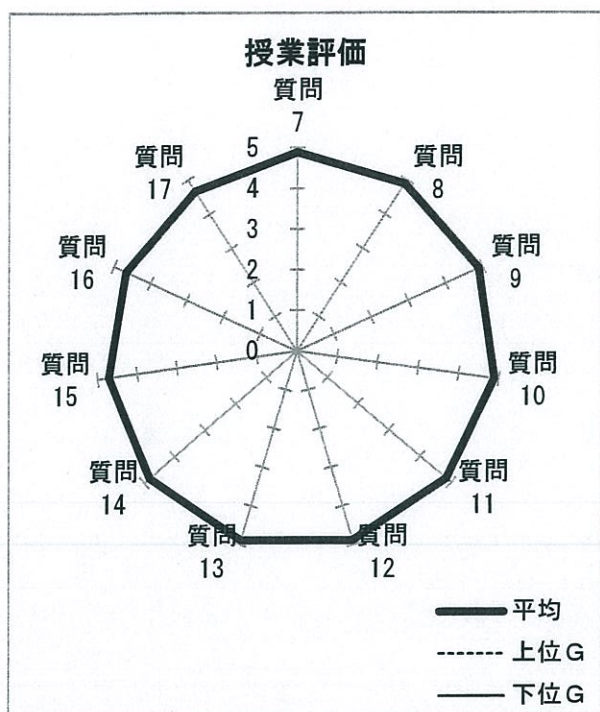
2019 年度担当予定科目名： 発音リズム法

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

2019 年度も学生の理解度の確認にも十分留意しながら、引き続き良い結果が出るように努力したい。
今年度 4.9 であった項目についても、改善できるようにしたい。

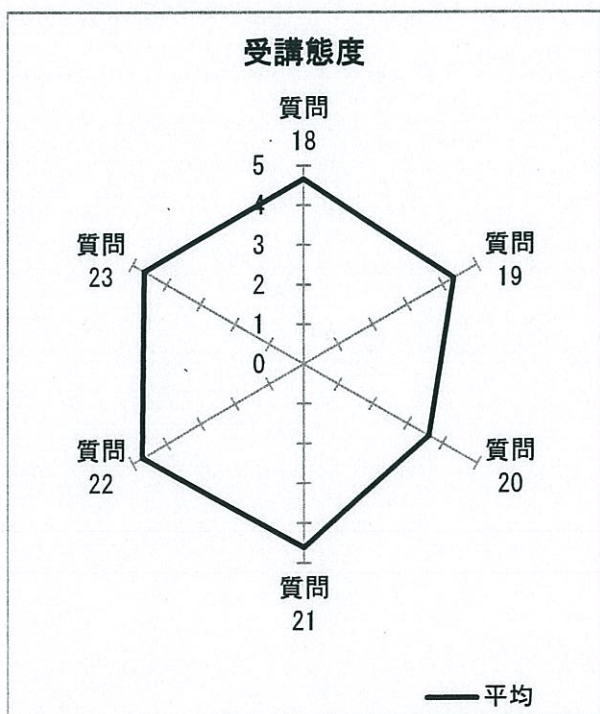
科目コード 117 (2018年度 前期)

国際文化学部・文学部 英語学科 西原 真弓 English Seminar III



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	4.8	4.8	#DIV/0!
質問12	4.9	4.9	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.8	4.8	#DIV/0!
質問15	4.7	4.7	#DIV/0!
質問16	4.7	4.7	#DIV/0!
質問17	4.7	4.7	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	4.3
質問20	3.6
質問21	4.6
質問22	4.7
質問23	4.7
平均	4.4

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	英語学科	西原真弓	English Seminar III	18

2018 年度前期授業評価アンケート集計結果： 教員による分析・評価と 2019 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

英語学科 2 年生必修科目である English Seminar III には 18 名の履修者がいる。まず、受講者たちの受講態度の自己評価が高く全員が受講態度上位グループに入っている。授業者の授業評価項目を見ると、どの質問項目においても高評価をしてくれている。本人たちの意識が高いこともあり、授業の目的を共通認識でき、それに向けて全員で頑張っていたためであると思う。ただ、理解度に関しては、少し評価が下がっているので、進度を調整し、理解していないところをゆっくり確認するという点においては改善の余地があると考えます。

II. 2019 年度に向けての取り組み

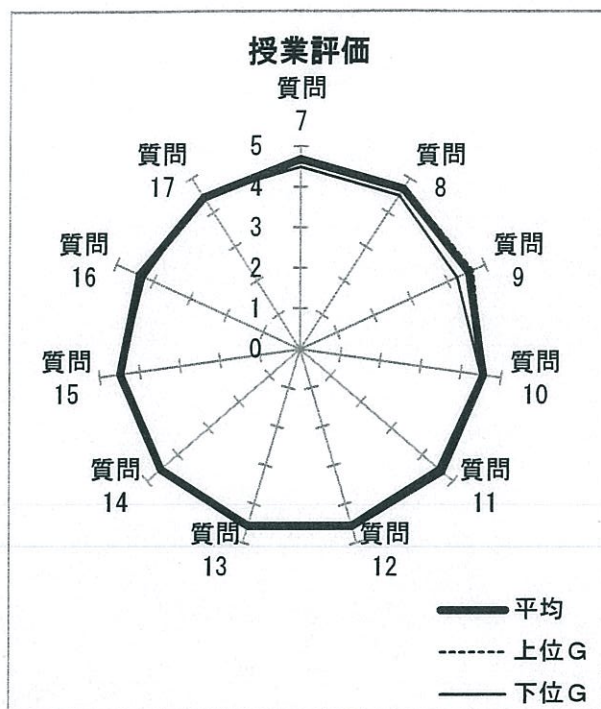
2019 年度担当予定科目名：English Seminar III

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

来年度も同じ科目を別のクラスで担当するため、理解度の確認と質問を受ける機会を与えるなど、工夫をしていきたい。

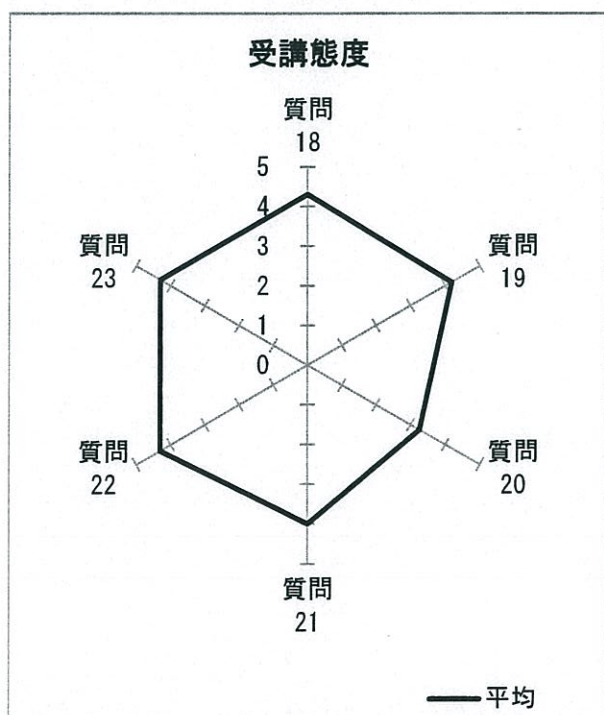
科目コード 122 (2018年度 前期)

国際文化学部・文学部 英語学科 深堀 悦子 Academic Listening I



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.7	4.8	4.5
質問 8	4.7	4.8	4.5
質問 9	4.6	4.7	4.3
質問10	4.6	4.6	4.5
質問11	4.6	4.7	4.5
質問12	4.6	4.6	4.5
質問13	4.6	4.6	4.5
質問14	4.6	4.6	4.5
質問15	4.5	4.5	4.5
質問16	4.4	4.4	4.3
質問17	4.4	4.4	4.5
平均	4.6	4.6	4.5

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.3
質問19	4.2
質問20	3.3
質問21	4.0
質問22	4.3
質問23	4.3
平均	4.1

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	英語学科	深堀 悦子	Academic Listening I	19

2018 年度前期授業評価アンケート集計結果： 教員による分析・評価と 2019 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

教員の話し方、教材・機器・板書等の効果的な使用、説明のわかり易さ、質問機会の確保と質問への適切な対応、学生の理解度の確認と授業への反映など、全項目において、学生はほぼ満足できるものだったと評価している。第一回目の授業において、言語ポートフォリオを用いて学生に明確な学習目標を立てさせ、学期をとおして自己の学習状況をモニターするよう指導した。毎回の授業は英語で行われ、学生は様々な内容についての講義形式のリスニング教材を聴きながら、メモを取り、理解度確認のための設問に答えてゆくという形をとった。適宜、学生には、取ったメモをもとに講義内容の口頭による要約も課せられた。

授業外の課題として、リスニング・ジャーナルを書かせ、毎回の授業時に提出してもらい、必要に応じてフィードバックを行った。これは学生のリスニング力の向上に役立ったと思われる。学生の受講態度は真面目であり、課題はほぼ締め切りを守って提出された。

II. 2019 年度に向けての取り組み

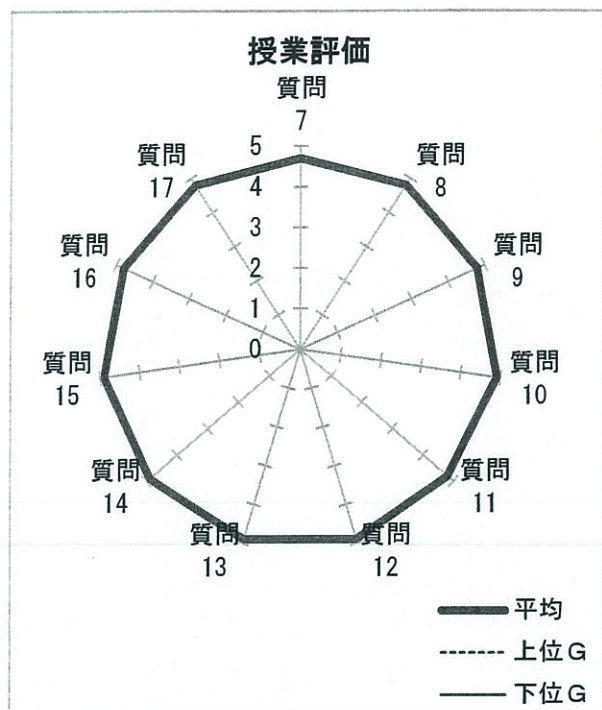
2019 年度担当予定科目名： Academic Listening I

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

学生が英語リスニング能力をさらに高めることができるよう教科書の選択も含め授業や課題について工夫してゆきたいと思う。英語リスニング能力を向上させる方法の一つとして、リスニング・ジャーナルは有効であるので、来年度も続けてゆきたい。

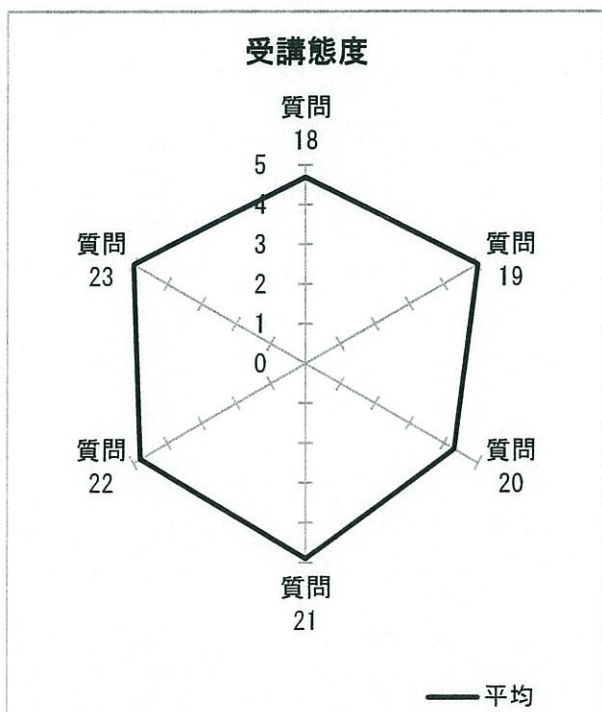
科目コード 130 (2018年度 前期)

国際文化学部・文学部 英語学科 John Anderson Academic English VII



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.7	4.7	#DIV/0!
質問 8	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 9	4.8	4.8	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	4.8	4.8	#DIV/0!
質問12	4.9	4.9	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.9	4.9	#DIV/0!
質問15	4.9	4.9	#DIV/0!
質問16	4.8	4.8	#DIV/0!
質問17	4.8	4.8	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	5.0
質問20	4.3
質問21	4.9
質問22	4.8
質問23	5.0
平均	4.8

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
Faculty of International Cultural Studies	Department of English	John Anderson	Academic English VII	10

2018 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2019 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

This class was a small group of only 10 students, with the lowest level of English language skills among the 4th year students. They were motivated to learn, however, and tried hard during class.

Students indicated that they were “very satisfied” in their responses to Questions # 7 - # 17. The average ranking score of their responses was 4.8 or 4.9. They could understand the teacher’s explanations, and all had opportunities to ask questions and participate in class.

II. 2019 年度に向けての取り組み

2019 年度担当予定科目名 : _____

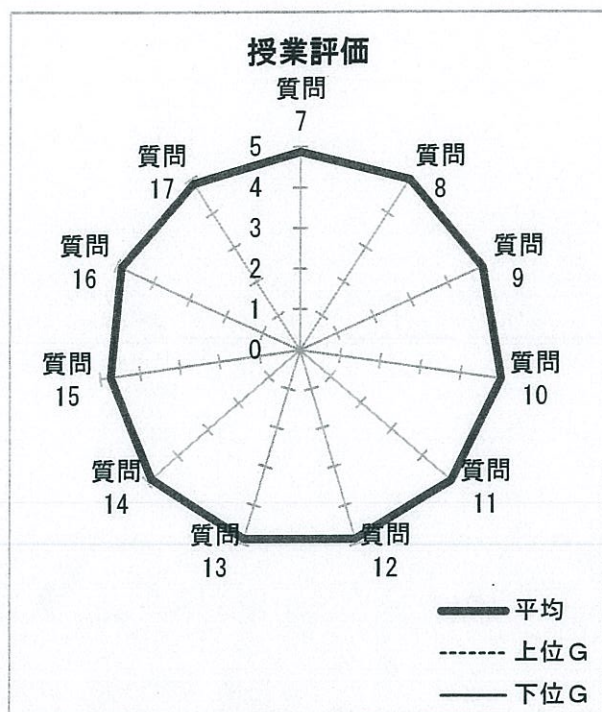
(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

The students’ self-evaluation was equally positive. They were serious about the class, interested in the content, and completed all assignments.

They did indicate a lower ranking for their own class attendance, however this being a class of 4th year students, the times they were absent were mainly due to job-hunting and related seminars and interviews.

科目コード 132 (2018年度 前期)

国際文化学部・文学部 英語学科 John Anderson Academic English V



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	5.0	5.0	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	4.9	4.9	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.9	4.9	#DIV/0!
質問15	4.8	4.8	#DIV/0!
質問16	4.9	4.9	#DIV/0!
質問17	4.9	4.9	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施

質問 8 : 教員の授業時間遵守

質問 9 : 教員の話し方

質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用

質問11 : 教員の説明のわかり易さ

質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)

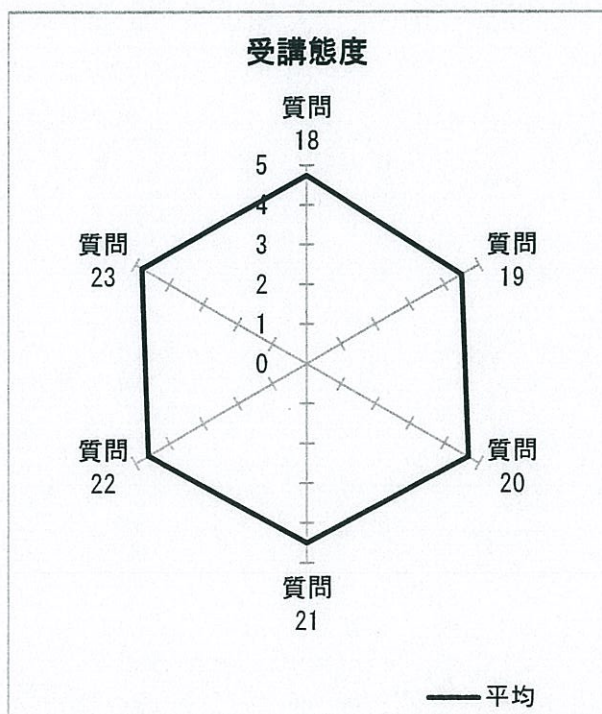
質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応

質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映

質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか

質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか

質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.5
質問20	4.7
質問21	4.5
質問22	4.6
質問23	4.8
平均	4.6

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか

質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか

質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)

質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか

質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか

質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
Faculty of International Cultural Studies	Department of English	John Anderson	Academic English V	16

2018 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2019 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

This class was a top group of highly motivated students. They were very satisfied with the way the class was conducted and the instructor's efforts, as evidenced by the average ranking scores of mainly 4.9 and 5.0 in the first group of questions.

They were also satisfied with their own efforts and progress. Two "lower" scores in the second section reflected their understanding the contents and purpose of the class (average ranking of 4.5, because 3 students gave it a score of 3, saying they couldn't really say one way or the other), as well as their own preview and review of the class contents.

II. 2019 年度に向けての取り組み

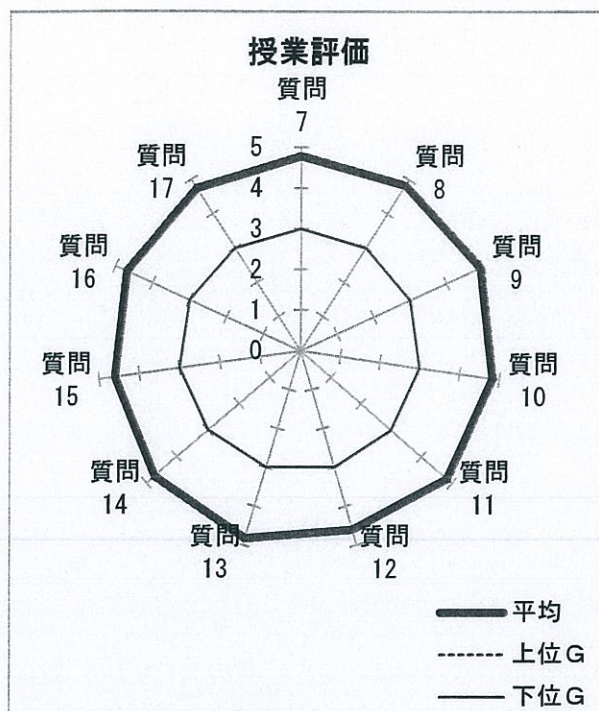
2019 年度担当予定科目名 : _____

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

In the second term (Academic English VI) and next year in Term One I (Academic English V) I will try to address the two issues with lower rankings mentioned in the previous section. Specifically, I will try to make sure that all students understand the content and purpose of the class (on an ongoing basis) as well as remind and encourage students to preview and review course content regularly.

科目コード 135 (2018年度 前期)

国際文化学部・文学部 英語学科 Richard Bent Comparative Cultural Studies



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.8	4.9	3.0
質問 8	4.8	4.9	3.0
質問 9	4.9	5.0	3.0
質問10	4.8	4.9	3.0
質問11	4.8	4.9	3.0
質問12	4.6	4.7	3.0
質問13	4.8	4.9	3.0
質問14	4.7	4.8	3.0
質問15	4.6	4.7	3.0
質問16	4.7	4.8	3.0
質問17	4.7	4.8	3.0
平均	4.8	4.8	3.0

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施

質問 8 : 教員の授業時間遵守

質問 9 : 教員の話し方

質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用

質問11 : 教員の説明のわかり易さ

質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)

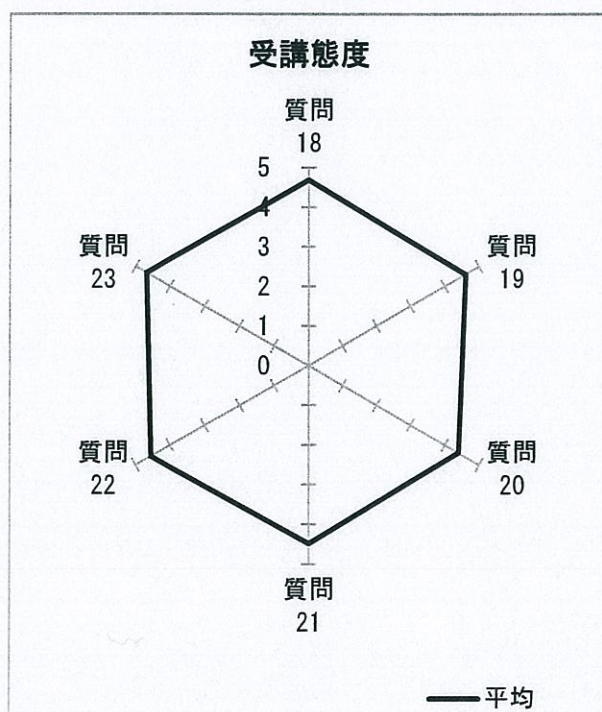
質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応

質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映

質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか

質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか

質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	4.6
質問20	4.4
質問21	4.5
質問22	4.6
質問23	4.7
平均	4.6

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか

質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか

質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)

質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか

質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか

質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	英語学科	リチャード・ベント	Comparative Cultural Studies	22

2018 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2019 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

This classes' aim was to instruct students about similarities and differences between the cultures of the USA, the UK, and Japan. Using teacher-made materials, internet research, and YouTube videos, students studied such items as national holidays, cultural norms, housing, and food. Looking at the feedback, it appears the students in the class enjoyed the content and learned more about cross-cultural studies. I was happy to see the response was overwhelmingly positive.

II. 2019 年度に向けての取り組み

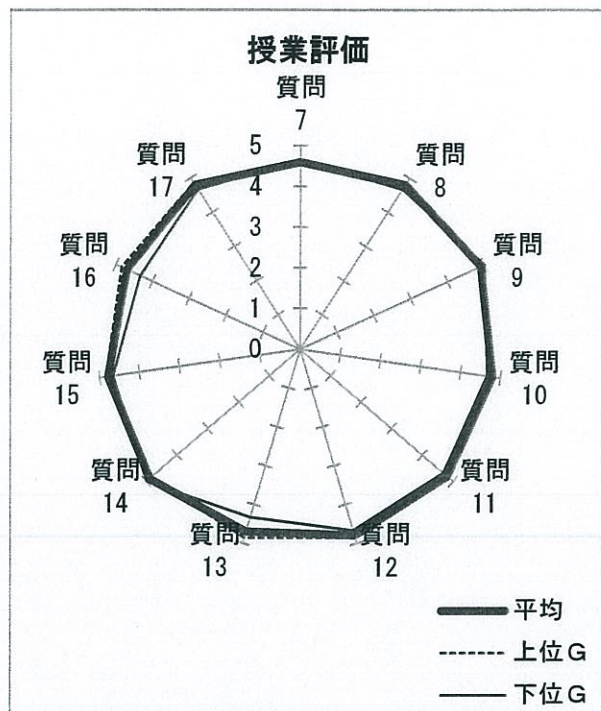
2019 年度担当予定科目名 : _____

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

The next time I teach this class, I want to develop my materials more so I can give students more structured readings and require them to do more individual research and present their findings to the class. As there is no one textbook that covers all three cultures, I will have to prepare the reading passages myself, which will take considerable work, but I think will provide a better learning experience for the students.

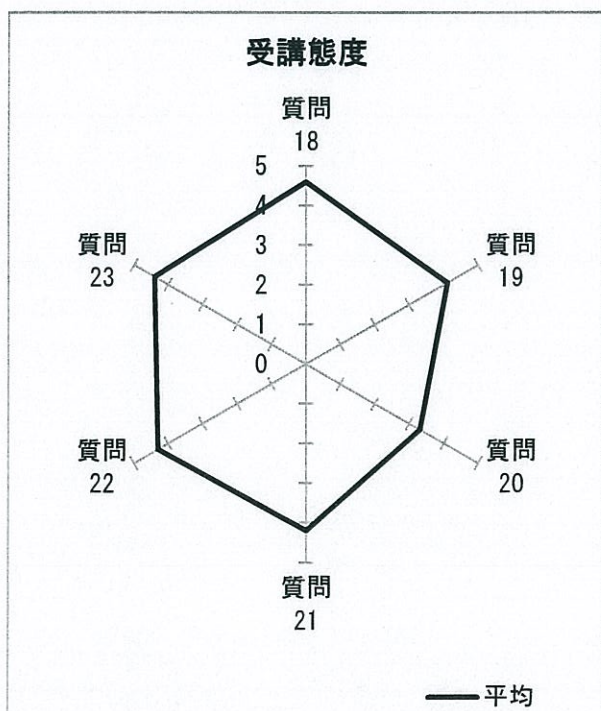
科目コード 136 (2018年度 前期)

国際文化学部・文学部 英語学科 Richard Bent Business Writing



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.6	4.6	4.7
質問 8	4.8	4.9	4.7
質問 9	4.9	4.9	5.0
質問10	4.8	4.9	4.7
質問11	4.8	4.9	4.7
質問12	4.8	4.9	4.7
質問13	4.7	4.9	4.3
質問14	4.9	4.9	5.0
質問15	4.8	4.9	4.7
質問16	4.7	4.9	4.3
質問17	4.8	4.9	4.7
平均	4.8	4.8	4.7

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : （自分は）授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.6
質問19	4.1
質問20	3.3
質問21	4.2
質問22	4.3
質問23	4.4
平均	4.2

質問18 : （自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	英語学科	リチャード・ベント	Business Writing	7

2018 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2019 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

For this class, students learned and practiced various forms of English business writing, such as letters, invitations, memos, and complaints. Overall, the feedback was very positive and hopefully this means the students felt they learned these skills sufficiently. For this year, I returned to a previously used textbook from two years ago, as I felt that the book I used last year put too much emphasis on writing business reports. While this text does not cover this valuable skill, it does cover more varied types of business writing which would be more of the kind students would be likely to come across in a real business environment.

II. 2019 年度に向けての取り組み

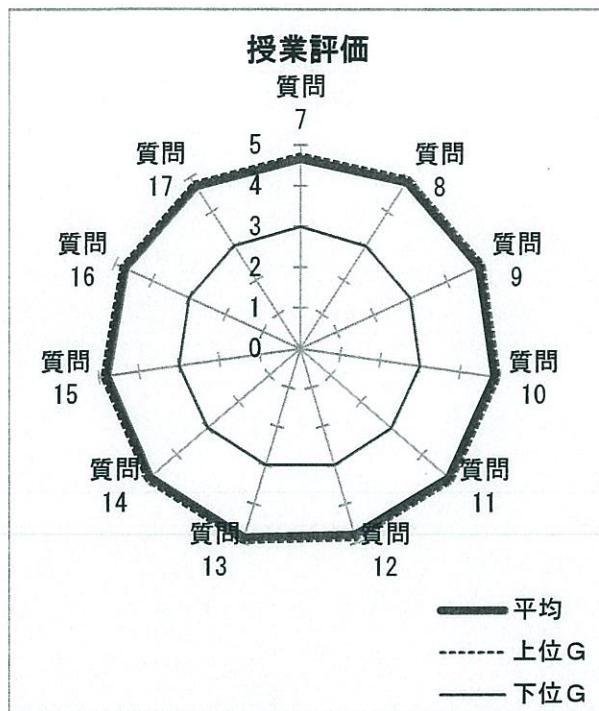
2019 年度担当予定科目名 : _____

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

I do feel this textbook is much more appropriate for the needs of the students we have at Kwassui, I intend to stay with the same text in future classes. As this class is now taught with another teacher as well as myself, but both concur this is the best option.

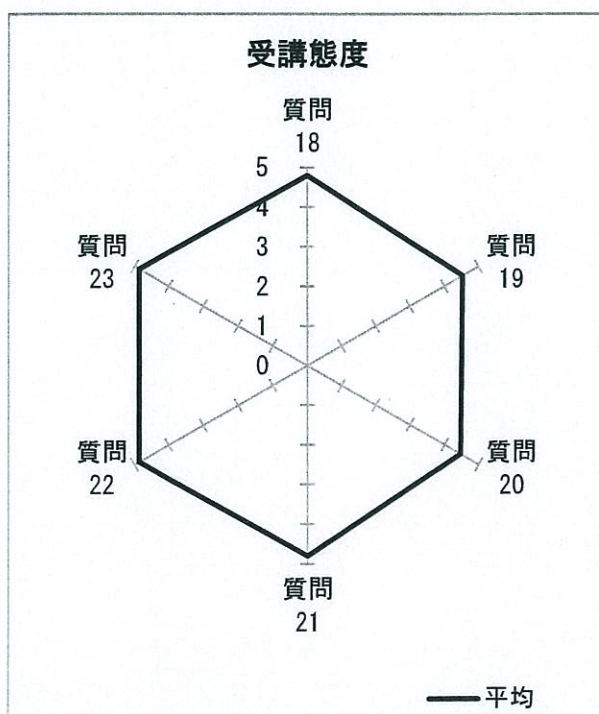
科目コード 138 (2018年度 前期)

国際文化学部・文学部 英語学科 Richard Bent Academic English V



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.7	4.8	3.0
質問 8	4.9	5.0	3.0
質問 9	4.9	5.0	3.0
質問10	4.9	5.0	3.0
質問11	4.9	5.0	3.0
質問12	4.8	4.9	3.0
質問13	4.9	5.0	3.0
質問14	4.9	5.0	3.0
質問15	4.8	4.9	3.0
質問16	4.7	4.9	3.0
質問17	4.7	4.9	3.0
平均	4.8	4.9	3.0

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.5
質問20	4.5
質問21	4.8
質問22	4.9
質問23	4.9
平均	4.7

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	英語学科	リチャード・ベント	Academic English V	14

2018 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2019 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

This course is a continuation of the Academic English series which runs throughout the English Department curriculum from first to fourth year, using the same textbook series. As such, the students in the class are familiar with the way the class is taught and the materials used. This class had some problems getting through all the material in the textbook, and as such could only complete three out of a proposed five units. However, looking at the feedback, it appears that while we did not cover all the material I wanted to finish, the slower pace may have been beneficial as the students reacted very positively to the class. As I explained to my students at the beginning of the term, I was more concerned that they were learning than rushing through the book in order to complete every unit.

II. 2019 年度に向けての取り組み

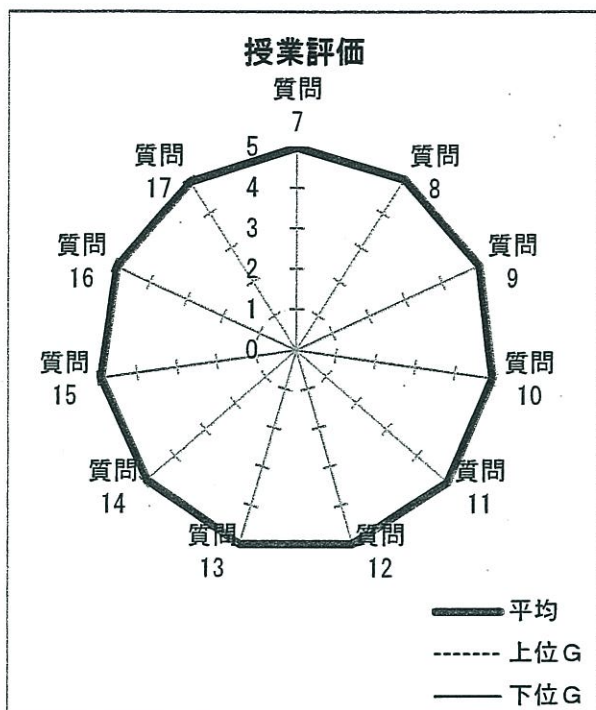
2019 年度担当予定科目名 : _____

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

The class depends very much on the ability of the students as to how much material can be completed. Lower classes may find the amount of material in the textbook to be slightly overwhelming, while higher ability groups could get through everything planned. I will teach accordingly, and use any extra time to cover important grammar and presentation points from units which could not otherwise be covered.

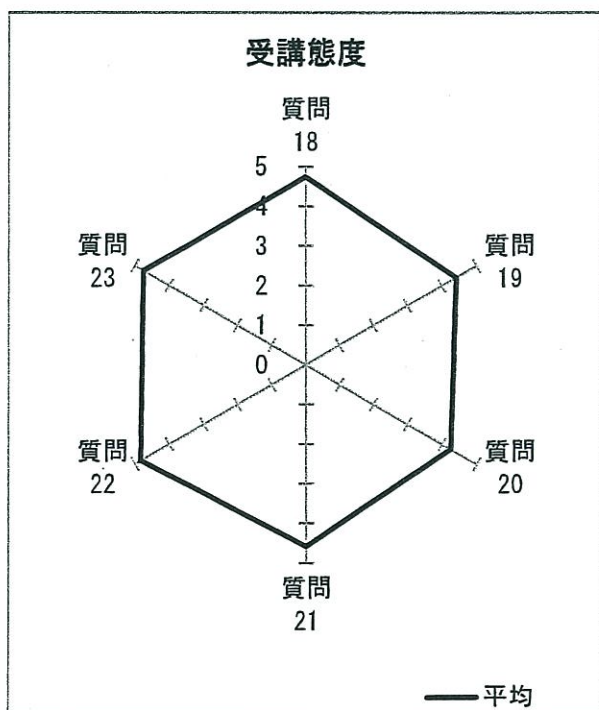
科目コード 141 (2018年度 前期)

国際文化学部・文学部 英語学科 Andrew Gorringer Academic English V



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	5.0	5.0	#DIV/0!
質問14	4.9	4.9	#DIV/0!
質問15	4.9	4.9	#DIV/0!
質問16	4.9	4.9	#DIV/0!
質問17	4.9	4.9	#DIV/0!
平均	5.0	5.0	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.4
質問20	4.3
質問21	4.6
質問22	4.8
質問23	4.8
平均	4.6

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
International Studies	English Department	Andrew Gorringe	Academic English V	12

2018 年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2019 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

This class had 15 students, and all the students except for three of them were present when the evaluation took place. The class was held once a week on Wednesday afternoons (periods VII - VIII). The textbook that we used was Pathways 3: listening, speaking and critical thinking (Heinle Cengage Learning)

It is clear from the feedback forms for this class that the students found class useful and interesting. The students tried hard and made an effort in class to practise English as much as possible. They had to do a presentation as part of the course and all the students tried their best to make these presentations interesting. I was very pleased with the students in this class.

II. 2019 年度に向けての取り組み

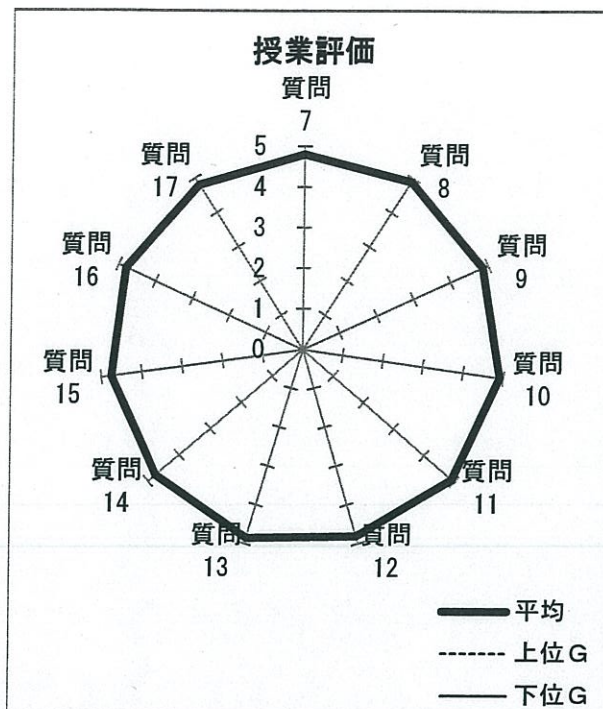
2019 年度担当予定科目名: _____

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

I will be teaching this class again next year and will teach it in a similar way to this year. We will probably be using a newer edition of the same textbook if it is available. I hope that next year's students will try as much as this group did.

科目コード 147 (2018年度 前期)

国際文化学部・文学部 英語学科 Sergio Mazzealli Academic Listening III



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	4.8	4.8	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.8	4.8	#DIV/0!
質問15	4.8	4.8	#DIV/0!
質問16	4.8	4.8	#DIV/0!
質問17	4.8	4.8	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施

質問 8 : 教員の授業時間遵守

質問 9 : 教員の話し方

質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用

質問11 : 教員の説明のわかり易さ

質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)

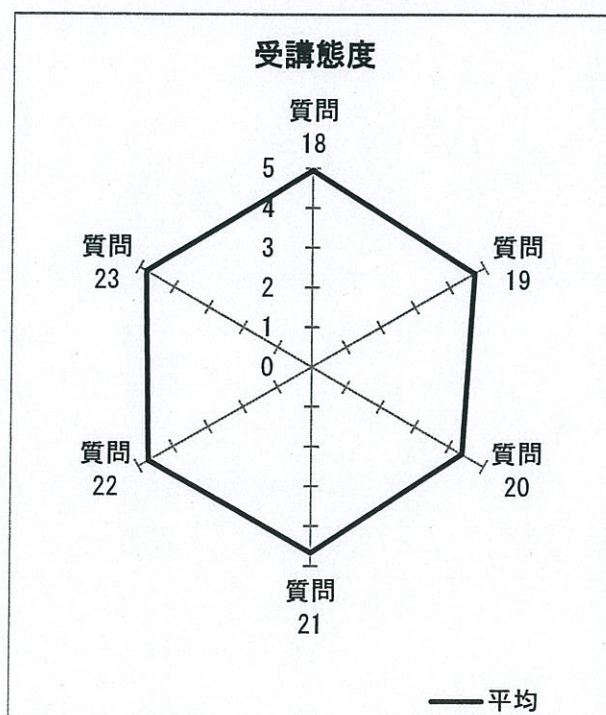
質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応

質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映

質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか

質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか

質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	5.0
質問19	4.7
質問20	4.4
質問21	4.7
質問22	4.7
質問23	4.8
平均	4.7

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか

質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか

質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)

質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか

質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか

質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文 学 部	英 語 学 科	Sergio Mazzealli	Academic Listening III	23

2018 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2019 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

All students in this course made efforts to improve their listening, note-taking, and presentation skills. They listened to textbook materials in class and to recordings of their choice outside class. By keeping listening journals in which they described their out-of-class listening experiences, they monitored their learning and developed independent listening habits. The course also benefited from the use of an adapted version of the European Language Portfolio, which allowed students to set clear goals for their activities and reflect on their progress.

II. 2019 年度に向けての取り組み

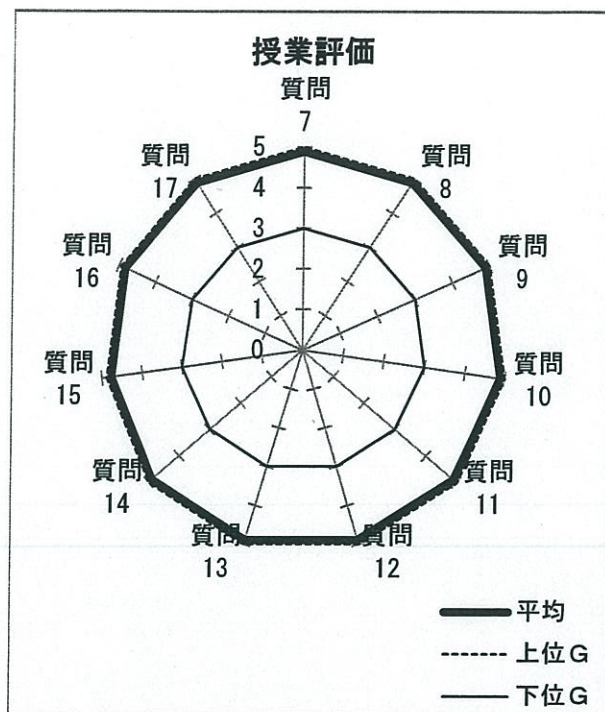
2019 年度担当予定科目名 : Academic Listening III

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

Since I was satisfied with my students' progress, I intend to teach the course in the same way next year.

科目コード 149 (2018年度 前期)

国際文化学部・文学部 英語学科 Sergio Mazzealli Academic Writing (月曜クラス)



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.9	5.0	3.0
質問 8	4.9	5.0	3.0
質問 9	4.9	5.0	3.0
質問10	4.9	5.0	3.0
質問11	4.9	5.0	3.0
質問12	4.9	5.0	3.0
質問13	4.9	5.0	3.0
質問14	4.9	5.0	3.0
質問15	4.8	4.9	3.0
質問16	4.8	4.9	3.0
質問17	4.9	5.0	3.0
平均	4.9	5.0	3.0

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施

質問 8 : 教員の授業時間遵守

質問 9 : 教員の話し方

質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用

質問11 : 教員の説明のわかり易さ

質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)

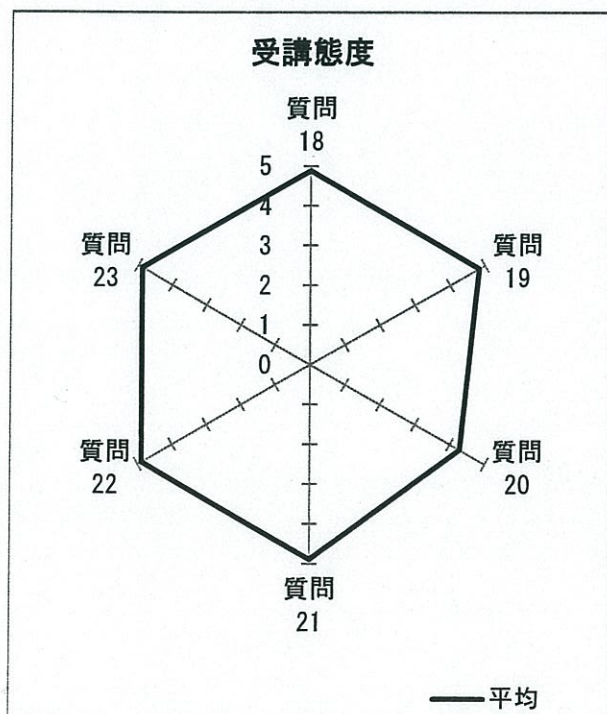
質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応

質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映

質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか

質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか

質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.9
質問19	4.8
質問20	4.3
質問21	4.9
質問22	4.9
質問23	4.8
平均	4.8

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか

質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか

質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)

質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか

質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか

質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文 学 部	英 語 学 科	Sergio Mazzealli	Academic Writing	19

2018 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2019 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

A range of interests and abilities were represented among participants in this course, which enrolled both third- and fourth-year students. To allow everyone to improve their academic writing skills, I conferenced with each student when returning her draft. This strategy, which I had successfully used in the past with smaller groups, produced positive results this time as well. In addition, students greatly benefited from a special session in which library staff showed them how to find reliable sources for their research. Finally, I supplemented the textbook with handouts showing, for example, how to document Japanese sources in MLA style.

II. 2019 年度に向けての取り組み

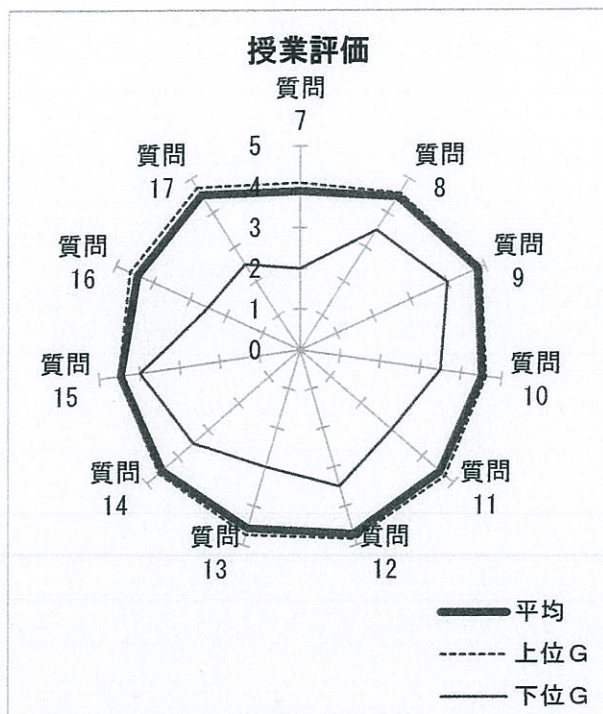
2019 年度担当予定科目名 : Academic Writing

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

Since the addition on a special session with library staff had a considerable impact on the quality of the research students submitted, I intend to incorporate this element into next year's syllabus.

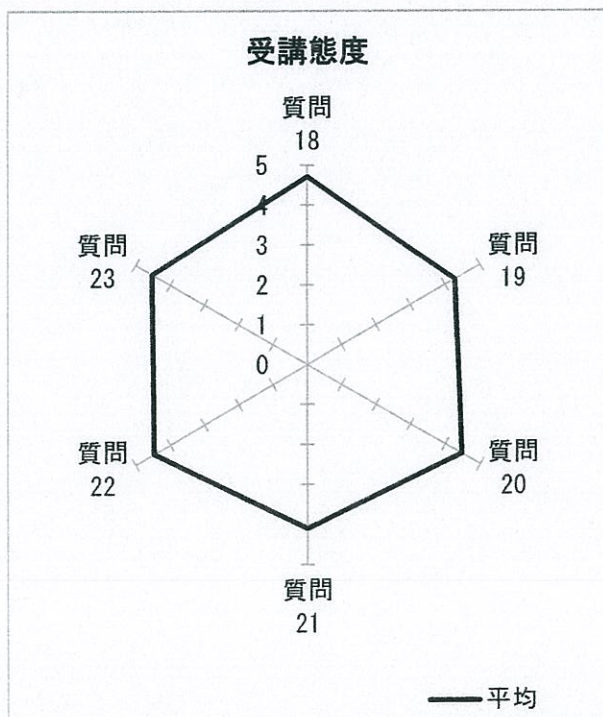
科目コード 150 (2018年度 前期)

国際文化学部・文学部 英語学科 新井 恭子 Junior Seminar I



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	3.9	4.1	2.0
質問 8	4.5	4.6	3.5
質問 9	4.8	4.9	4.0
質問10	4.5	4.6	3.5
質問11	4.6	4.7	3.0
質問12	4.7	4.8	3.5
質問13	4.6	4.7	3.0
質問14	4.5	4.6	3.5
質問15	4.5	4.5	4.0
質問16	4.4	4.6	2.5
質問17	4.5	4.7	2.5
平均	4.5	4.6	3.2

質問 7：授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8：教員の授業時間遵守
 質問 9：教員の話し方
 質問10：教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11：教員の説明のわかり易さ
 質問12：教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）
 質問13：質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14：学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15：（自分は）授業を理解できたと思うか
 質問16：授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17：新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	4.3
質問20	4.5
質問21	4.1
質問22	4.5
質問23	4.5
平均	4.4

質問18：（自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19：授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20：欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）
 質問21：授業の予習・復習をおこなったか
 質問22：レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23：私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
国際文化・文学部	英語	新井恭子	Junior Seminar I	23

2018 年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と 2019 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

昨年は活水女子大学に来たばかりで、Junior Seminar が目的とする事がよく理解できていなかったが、今年は、授業のやり方や教科書のレベルもしっかり考えたので、よかったようである。

昨年は教科書をあまり使えず指摘を受けたが、(学生の研究のニーズに応えたつもりだったが) 前期はシラバズどおりに実施できた。

以上

II. 2019 年度に向けての取り組み

2019 年度担当予定科目名：基礎セミナー I・II、専門セミナー I・II

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

来年度は日本文化学科に異動し、基礎セミナー I・II と専門セミナー I・II で、地元の企業と地方自治体の協力を得て、PBL 形式の課題解決型の授業を実施予定である。結果はルービックを使って評価をする。